



“人と地球にやさしい未来の光”＝エシカルライティング。
それは数値では表せない人の心理や身体への影響を考慮した光環境、照明手法、光の質・・・を創造してゆくもの。
ENDOは、その実現を支えるツールやテクノロジーを統合した「エシカルネットワークソリューションズ」を通じ、
光とエネルギーの有効活用を社会に提案して参ります。

LEDZ[®] HOSPITAL Light series

ベッドブラケットライト／病室向けダウンライト／ダストレス間接照明

快適

パブリックな光とプライベートな光

患者にとって生活空間となる病室では、部屋全体の明るさである「パブリックな光」と、各々の生活行為に合わせて操作可能な「プライベートな光」の使い分けが必要です。

清潔

ホコリを溜めない/清掃しやすい形状

照明器具の形状は天井や壁面からの出幅を最小限にし、清潔維持の為に、ホコリが溜まりにくい清掃がしやすいシンプルなデザインが望まれています。

省エネ

明るさ感を得やすい光環境

壁面や天井面への間接光を使った照明手法は、明るさ感を表現し、少ないエネルギーで快適な光環境をつくれます。さらに、高効率なLED照明により電力を削減します。

ベッドブラケットライト LEDZ Pro.2 カタログ P587

凹凸が無く清掃がしやすい形状 天井へのやさらかなアッパーライトと手元の明かりを取る読書灯・常夜灯を、1台に兼ね備えています。

Soft Slim

3500K (温白色) Ra82

ERB6511W 〈電源内蔵〉
定格光束 3309lm
消費電力 26.3W 125.8lm/W [9]

常夜灯点灯時

100V 調光不可 LED光源寿命 40,000時間

消費電力
アッパーLED 19.6W
読書灯 LED 6.7W
常夜灯 LED 0.5W

LEDモジュール [9]
白艶消、高透過拡散アクリル
重:3.2kg

920 78 100

Small Box

3500K (温白色) Ra82

器具本体 ERB6612W 〈ユニット別売・常夜灯付〉
ランプ RAD-415WWB
RAD-416WWB
定格光束 2616lm
消費電力 33.5W 78.0lm/W [9]

LEDモジュール [9]
白艶消、高透過拡散アクリル
重:3.5kg

100V 調光不可 LED光源寿命 40,000時間

消費電力
アッパーLED 19.1W
読書灯 LED 14.4W
常夜灯 LED 0.5W

680 94 98

病室向けダウンライト LEDZ Pro.2 カタログ P586

グレアの無いやさしい光で、ベッド上を明るくすることができる専用ダウンライト 本人だけでなく、同室の患者様へのグレアも配慮するとともに、処置だけではなく食事・読書などテーブル使用時の照明としても有効です。

12V IRC ミニハロゲン球 50W 器具相当 Rs-7

3500K (温白色) Ra85

ERD5039WA 〈電源ユニット付〉
定格光束 433lm
消費電力 13.4W 32.3lm/W [9]

V Free 100-242 調光不可 断熱施工不可 LED光源寿命 40,000時間 特許登録済

LEDモジュール [9]
枠:白艶消
コーン:黒艶消
重:0.7kg

110V φ50 省電力ダイクロハロゲン球 器具相当 JDRTYPE

2灯用タイプ

3000K (電球色)

ERD3888W (LEDランプ別売)
定格光束 453lm
消費電力 10.0W 45.3lm/W
(RAD-671MX2使用時)

100V 断熱施工不可 LED光源寿命 40,000時間

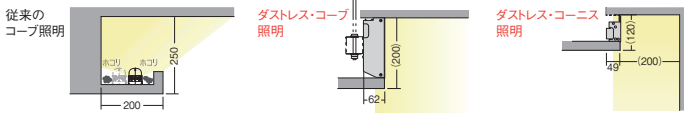
LEDランプ JDR×2 E11 別売
枠:オフホワイト艶消
反射コーン:黒艶消
重:1.0kg

ダストレス・コーブ照明／ダストレス・コーニス照明 LEDZ Pro.2 カタログ P466～467

ホコリの溜まりにくいダストレス間接照明

クリーン&高効率な照明システム

従来の間接照明では造作部分にホコリが溜り、衛生面で課題がありました。ダストレス照明では、清潔を維持したデザインにより衛生面で課題となるホコリ溜りを極力少なくできます。光学設計に基づく専用反射板と高透過高拡散パネルにより、天井面をより広く効率的に照射し空間の明るさ感を得ることができます。



Hf32W×1 灯 器具相当

ダストレス・コーニス照明

屋内用 V Free 100-242 電源内蔵 LED光源寿命 40,000時間 特許出願中

L: 1200 タイプ ERK9866W 〈電源内蔵〉
2223lm 107.3lm/W [9] 重:1.7kg
消費電力 20.7W

L: 600 タイプ ERK9867W 〈電源内蔵〉
1249lm 107.6lm/W [9] 重:1.1kg
消費電力 11.6W

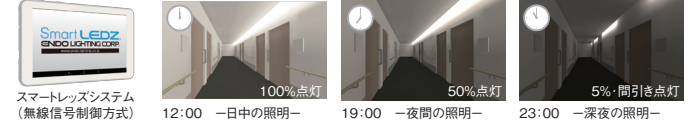
3500K (温白色) Ra82

器具本体:アルミ(白)
樹脂(アクリル・高透過高拡散)
無線モジュール付

[9] 非調光 [9] グリーン購入法対象機種適合品

時間帯に応じて明るさ自動制御

病棟の廊下は24時間スタッフの往来があるため、照明は常時点灯されますが、一日中同じ光環境では患者の生活リズムを害するおそれがあります。無線制御システムスマートレッズならあらかじめスケジュールを作成しておくことでスタッフの手を煩わすことなく、時間帯に応じた快適な光環境の実現が可能です。



Hf32W×1 灯 器具相当

ダストレス・コーブ照明

屋内用 V Free 100-242 調光可能 電源内蔵 LED光源寿命 40,000時間 特許出願中

L: 1200 タイプ ERK9868W 〈電源内蔵〉
2178lm 105.2lm/W [9] 重:3.3kg
連結端用(右用) 消費電力 20.7W

L: 1200 タイプ ERK9869W 〈電源内蔵〉
2178lm 105.2lm/W [9] 重:3.3kg
連結中間用 消費電力 20.7W

L: 1200 タイプ ERK9870W 〈電源内蔵〉
2178lm 105.2lm/W [9] 重:3.3kg
連結端用(左用) 消費電力 20.7W

3500K (温白色) Ra82

器具本体:アルミ(白)
樹脂(アクリル・高透過高拡散)
無線モジュール付

& LEDZ WORKS

2018 SPRING 2 LED照明事例集



医療・福祉施設特集号

01 星陵あすか病院

02 県南病院 新棟増築工事

03 座間総合病院

04 幌東病院

05 手稲いなづみ病院 人工透析センター増床工事

06 カトリア鈴蘭台／カトリアすずらん台

07 リズムタウン仙台



DATA

所在地：宮城県大崎市
竣工：2017年3月
施主：有限会社けやき
設計：株式会社伊藤喜三郎建築研究所
施工：大和ハウス工業株式会社
電気工事：株式会社四電工



人工透析室
ここに60床のベッドがならぶ。目に光が直接入らない間接照明と、同じく目に光が入らない位置に処置灯が設置されている。

廊下

こちら、目にやさしい、まぶしさに配慮した照明計画がされている。ストレッチャーで搬送される時、患者さんは上を向いているため、廊下の真ん中にダウンライトが点灯されていると眩しさを感じる。そのため、間接照明や、壁側にダウンライトを設置する等の配慮がされている。



病室



Interview

目にやさしく、ホコリが溜りにくい エシカルな照明設計にこだわる

株式会社伊藤喜三郎建築研究所
設計本部 第一設計部 次長 山根 直樹 様
設計本部 第二設計部 係長 神谷 優治 様
環境技術本部 電気設備部 係長 林 大二郎 様

医療法人華桜会 星陵あすか病院は、内科・人工透析・リハビリテーションの3科で合計300床の療養病床を有し、透析室では1室に60床が並びます。同院は、回復期のリハビリテーション入院や慢性期の長期療養にも対応した新設病院。本プロジェクトでは、長年にわたって数多くの医療施設の設計を手がけてきた当社のノウハウを活かし、衛生面への配慮と患者さんの快適性が調和する病院建築を追求しました。特に、呼吸器の専門医である院長先生の強いご要望もあり、衛生面でのリスクを高めるホコリ溜りを徹底的に排除する照明設計にもこだわっています。

医療現場、患者さんに寄り添う光環境をめざして

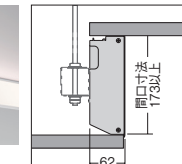
透析室では、患者さんは常にベッドから天井を見上げることになりますので、光源が目に入らず、まぶしさを感じさせない間接照明が理想です。一方で、折り上げ天井の間接照明は、いわゆるアゴの部分がホコリ溜りの原因となるため、衛生面での課題がありました。そこで今回、新たに採用したのが、アゴのないLED間接照明です。絶え間なく患者さんが透析を受けており、日常の清掃が困難な透析室で清潔性を確保するためには、ホコリが溜りにくいダストレス間接照明が最良の選択だったと思います。それに加え、色温度が3000Kだと赤みを帯びて血管が見えにくいのですが、この器具は赤すぎず青すぎない3500Kである点もメリットでした。また病室には、同院が使用するメディカルユニットのサイズとのバランスを考慮し、小型でも十分な照度が確保できるベッドブラケットを採用。凹凸のない器具形状のため、ホコリが溜まりにくく、清掃が容易なことに加えて、患者さんがベッドから見上げた時の出っ張りが少なく、圧迫感を感じさせないという条件を満たしています。さらに、LEDランプ部分の交換が職員でも簡単にできる非一体型の仕様であることも決め手となりました。将来的には、より一層、患者さんに寄り添う病院設計をめざして、病室でほとんどの時間を過ごされる長期入院の患者さんに一日の変化を感じていただけるよう、サーカディアンリズム（体内時計）に合わせた調光調色にも取り組んでいきたいと考えています。

■使用器具

人工透析室
間接照明（ダストレス・コブ照明）



ERK9868W
○温白色（3500K）
2178lm 20.7W



※取付けを考慮した寸法です。
※器具受金物は含まれておりません。別途ご用意ください。

病室
ベッドブラケットライト



ERB6512W
RAD-415WWB・RAD-416WWB
○温白色（3500K）
2616lm
アッパーLED 19.1W
読書灯 LED 14.4W
常夜灯 LED 0.5W



ダストレス間接照明
内装造作不要でスッキリとした収まり。

医療法人財団 県南病院は、急性期の緊急手術からリハビリテーションまでをカバーする、脳神経外科を中心とした施設。CT、MRIによる迅速な診断、常時緊急手術ができる体制を整え、脳血管障害などに対応する。この度、診療検査を行う外来部門と病室を新築し、従来からの病室・リハビリテーション施設のあるB棟に連結。新棟建設にあたっては、エントランス・ロビー、通路、病室などの照明に配慮。衛生面の大敵であるホコリ対策を強化しつつ、間接照明の造作工事をなくすことでコストを抑えたシンプルな照明設計となっている。

造作工事不要の間接照明の採用で、天井の高さを確保

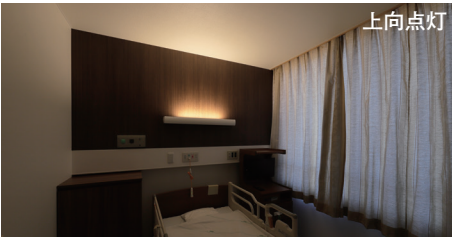
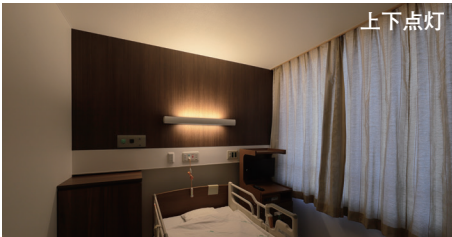
エントランス・ロビーの折り上げ天井には、ホコリ溜りを減らすことのできるダストレス間接照明を採用。通常、折り上げ天井に間接照明を施す場合、照明器具を隠すための造作（アゴ）が必要となるが、ダストレス間接照明は、その造作が不要なのが最大の特長だ。凹凸のない収まりにより、ホコリ溜まりを解消し、天井の高さを確保するとともに、やわらかくスッキリとした視覚的に明るい空間を実現している。また、エントランス・ロビーから続く診察室の壁面側にデザインベースライトを設置。壁面に十分な明るさを演出することで診察前の不安を軽減し、動線を明確することで患者さんが迷うことのないように誘導する。色温度については、エントランス・ロビーには暖かみのある温白色（3500K）、診察室へ向かう廊下には清潔感のあるナチュラルホワイト（4000K）を使用。先のダストレス間接照明と同様、機能的・快適性・清潔性に配慮している。各病室には、上向・下向・常夜灯の3パターンの点灯切り替えが可能なベッドブラケットも採用されている。



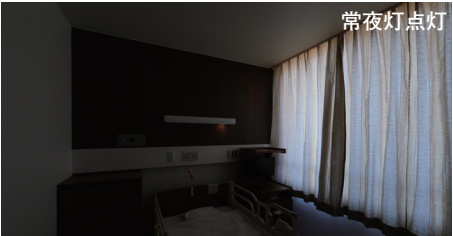
エントランス・ロビーから診療室側を見る。診療室側の壁に明るさが配置され、広がり誘導感が配慮されている。

02 医療法人財団 県南病院 新棟増築工事

DATA
所在地：茨城県土浦市
竣工：2017年5月
施主：医療法人財団県南病院
設計：株式会社INA新建築研究所
施工：株木建設株式会社
電気工事：六興電気株式会社



病室のベッドブラケットは3パターンの点灯切り替えが可能なタイプ（上向・下向・常夜灯）

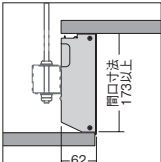


■使用器具

エントランス・ロビー
間接照明（ダストレス・コブ照明）



ERK9868W
●温白色（3500K）
2178lm 20.7W



※取付けを考慮した寸法です。
※器具受金物は含まれておりません。
別途ご用意ください。

エントランス・ロビー
グレアレスウォールウォッシャー
ダウンライト



ERD5365W+RX-360N
●温白色（3500K）
1019lm 14.2W

廊下
デザインベースライト リニア 70



ERK9705W+RAD-620W
○ナチュラルホワイト（4000K）
4053lm 39.8W

病室
ベッドブラケットライト



ERB6511W
●温白色（3500K）
3309lm

アッパーLED 19.6W
読書灯 LED 6.7W
常夜灯 LED 0.5W



03 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 座間総合病院

DATA
所在地：神奈川県座間市
竣工：2016年2月
施主：医療法人ジャパンメディカルアライアンス
設計：株式会社入江三宅設計事務所・KAJIMADesign
実施設計：KAJIMADesign・株式会社入江三宅設計事務所
監理者：株式会社入江三宅設計事務所
施工：鹿島建設株式会社 横浜支店
電気工事：株式会社きんでん 横浜支社



座間総合病院は、米軍キャンプ座間の一部返還地に開設された一般急性期病院。病院の減少により機能が低下した座間市エリアの救急医療体制を再構築すべく、国有地の定期借地権を活用して誘致された全国初のケースとしても注目を集めた。地上6階建ての病棟に、総合診療科をはじめとする19科目、病床数352床を有し、幅広い医療ニーズに対応する。市民が安心して利用できる環境づくりを重視し、建築設計・インテリア・サイン計画と密接に連携した照明計画を実施。先進医療を提供する場にふさわしい洗練されたスタイルと、親しみや暖かみを感じさせるホスピタリティをあわせ持つ光環境を創造することに成功している。

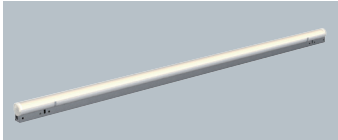
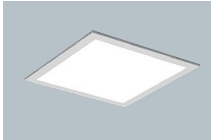
ホスピタリティはベッドブラケットのデザインなど、細部まで及ぶ

同院の照明計画において特筆すべきは、病院特有の緊張感を払拭する演出が施されている点である。例えば、総合待合ホールには、間接照明とベースダウンライトがバランス良く配置されており、ホール全体の陰影のある光のコントラストと、壁面の適度な明るさ感、ナチュラルなテイストの内装・インテリアが心地よい相乗効果を生み出している。また、352床のベッドすべてに、やわらかなフォルムでベッド幅にぴったり収まる幅920mmサイズのベッドブラケットを採用。壁面からの出幅も最小限にとどめているため、患者さんに緊張感を与えないデザインとなっている。照明の切り替えも、上向きのアッパーライト、下向きの読書灯と常夜灯の3つを兼ね備えており、シーンに応じた最適な光の提供が可能である。衛生面でも、清掃が容易でホコリが溜まりにくいという大きなメリットがある。



病室内のベース照明・ベッドブラケットの色温度は居室であることを重視し、色温度を電球色(3000K)に統一。幅920mmのやわらかなフォルムのベッドブラケットは、3パターンの点灯切り替えが可能(上向・下向・常夜灯)である。



■使用器具		
総合待合ホール 間接照明(シームレスチューブ)	総合待合ホール・廊下 ベースダウンライト	
		
ERX9349N ●温白色(3500K) 2662lm 20.7W	ERD2158W ●温白色(3500K) 1478lm 16.7W	
リハビリテーション室 スクエアベースライト	病室 ベースダウンライト	病室 特注ベッドブラケットライト
		
ERK9733W ●温白色(3500K) 10727lm 78.9W	ERD3772WA ●電球色(3000K) 888lm 9.5W	ERB6511W (色温度変更) ●電球色(3000K) 3010lm アッパーLED 19.6W 読書灯 LED 6.7W 常夜灯 LED 0.5W
		



幅340mmのコンパクトな特注ベッドブラケット。

04 医療法人社団豊武会 幌東病院



DATA
所在地：北海道札幌市
竣工：2017年6月
施主：医療法人社団豊武会 幌東病院
設計・監理：株式会社アトリエブंक
設備設計・監理：株式会社アトリエブंक＋
株式会社総合設備計画 札幌事務所
施工：伊藤組土建株式会社
電気工事：浅海電機株式会社 札幌支店
撮影：酒井広司（上段病室写真除く）



幌東病院は、札幌市内の東部に位置し、240床の病床を持つ都市型中規模の慢性期病院である。内科と老年内科の診療をおこなっており、療養病床では主に循環器系・呼吸器系・消化器系の老人性疾患を取り扱う。そのため入院日数が長期にわたることも多く、日常の生活感覚を維持できるよう、病院建築においても自然光を積極的に活かし、四季の変化を感じられる工夫がなされている。

建築特性に柔軟に対応する照明計画で光環境を最適化

入院患者には要介護の高齢者が多く、病室では介護の際にベッドを動かす必要が生じる。そのため、病室を壁状の構造にすることで、柱型の出ない、レイアウト変更がしやすい構成とした。それに合わせて、病室照明においても、突起が少なく移動の邪魔になりにくい、コンパクトなベッドブラケットの特注開発が要求された。同製品は通常のカatalog製品が幅680mmに対し、幅340mmと非常に小型であるにもかかわらず、上向きアッパライト・下向き読書灯・常夜灯の切り替え機能を持つ。また、一般的な4床病室では、窓側ベッドと廊下側ベッドの自然光の入り方が異なり、居住性に大きな差が出るという課題がある。同院では、病室と廊下の間の壁面をスチールとガラスから成るフラットな面で構成し、病床への開口を設けている。これにより、中庭からの自然光が反射・拡散し、廊下側ベッドにも自然光が回り、廊下側病室の居住性が格段に改善されている。照明においては、中庭に面した廊下の壁面近くにダウンライトを設置。壁面に明るさを確保することで、中庭とは逆の病室側へ視線を向けた際に暗さを感じさせないなど、建築の特性に対応した計画となっている。

■使用器具	
病室 特注ベッドブラケットライト  ○ナチュラルホワイト(4000K) アッパールー LED 9.7W 読書灯 LED 6.6W 常夜灯 LED 0.5W×2 230 340	病室 特注病室向けダウンライト(処置灯)  ERD2367S (レンズ変更によるグレアカット対策) ○ナチュラルホワイト(4000K) 451lm 6.1W
ロビー ベースダウンライト  ERD2143W ○ナチュラルホワイト(4000K) 945lm 13.4W	廊下壁面 ベースダウンライト  ERD3146W ○ナチュラルホワイト(4000K) 1113lm 12.7W

05

社会医療法人 アルデバラン 手稲いなづみ病院 人工透析センター増床工事



電球色

窓のない空間に大きな円形の青空を模した間接照明を設け、色温度を変えることで患者さんが入りやすく、透析時間を少しでも短く感じていただく工夫を施した。



白色

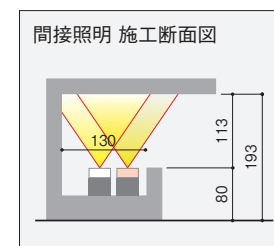
DATA
所在地：北海道札幌市
竣工：2017年7月
施主：社会医療法人 アルデバラン



電球色



白色



Interview

医療依存度の高い患者様に配慮した 照明環境を実現したい

手稲いなづみ病院 事務部 事務次長 矢津田 剛 様
手稲いなづみ病院 血液浄化部 透析室長 高田 克己 様



手稲いなづみ病院は、急性期から慢性期医療への橋渡的存在となる医療機関をめざす小規模多機能型の内科単科病院です。診療科目には、内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科（人工透析）、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、リハビリテーション科があり、地域の医療機関と連携しつつ、医療依存度の高い患者を受け入れています。2010年に人工透析を開始して以来、増加する透析患者様に対応するため、2014年に「人工透析センター」を20床でオープン。今回は、その後も増加を続ける地域の透析ニーズに対応し、最大30床まで受け入れられる体制を整えるための増床リニューアルです。

透析患者様の精神的負担を調色によって緩和する

増床前は、当センターが手稲稲積公園に面しているため、すべての患者様が透析中に公園の緑や青空を眺めることができました。そこで、新設した窓のない透析エリアでも、入りやすく、落ち着いた気持ちで透析を受けられるよう、内装や照明に工夫を凝らしています。まず、青空をモチーフとした円形の天井を設け、四方の壁には全面に樹々をデザインし、森の中で透析を受けているような空間の演出を行いました。さらに、無線で調光調色ができるSmart LEDZを導入し、間接照明の光を3時間毎にオレンジから白へ、白からオレンジへと自動でゆるやかに切り替わるように設定。長時間に及ぶ透析患者様の精神的な負担を緩和する空間づくりに努めています。

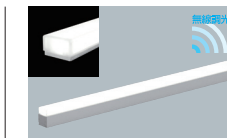
■使用器具

Smart LEDZ

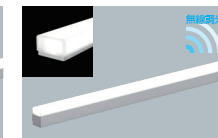


RX-270N
(タッチパネル式タブレット型コントローラ)
RX-266W (ゲートウェイ)

人工透析センター 間接照明 リニア32



ERK9710S+RAD-622LL
●電球色 (3000K)
1124lm 11.6W



ERK9710S+RAD-622W
○ナチュラルホワイト (4000K)
1363lm 11.6W



レクリエーションや食事をおこなう多目的ルーム。

06 介護老人福祉施設 カトレア鈴蘭台 特定施設入居者生活介護 ケアハウス カトレアすずらん台

DATA
所在地：兵庫県神戸市
竣工：2017年9月
施主：社会福祉法人まな会の
設計：株式会社IAO竹田設計
施工：株式会社高階
電気工事：西部電気建設株式会社

家のリビングルームのように多目的
ルームがユニットの中心に位置し、
周囲に各居室が並ぶ。



Interview

“光のケア”を活かし、 安心感につなげたい

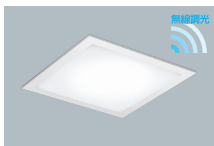
カトレア鈴蘭台・カトレアすずらん台 施設長 高階 和洋様
株式会社 IAO 竹田設計 大阪第一事務所 次長 多々良 洋介様



介護老人福祉施設 カトレア鈴蘭台、特定施設入居者
生活介護 ケアハウス カトレアすずらん台の2施設は、
同じ建物内に併設されています。前者が、要介護3以
上の排泄・入浴・衣服の脱着などの日常全般に介助が
必要な方が入居されるのに対して、後者は、自立可能な
方から要介護5の全面的な介助が必要な方まで、様々
な方が入居される施設です。いずれもユニット型で入居定員30名、ショートステイ10床を完備しています。ユニット
型とは、集団ではなく10人以上の少人数をひとつの生活単位(ユニット)とし、各入居者様の居室とユニット内の
共有空間により、それぞれの嗜好と生活リズムをケアするコンセプトの介護スタイルです。今回、この施設コンセプ
トに対応した光環境の実現をめざしました。

光をコントロールして入居者様の生活リズムや嗜好をケアする

「眠くなってきた。そろそろ寝ないといけないな…」というように、健康な方は夜になると自然に眠くなってきます。一方
で、夜なかなか眠れない、朝は起きづらいという方に対して、お薬などに頼らずにメラトニン(睡眠ホルモン)の生成を
光によってフォローできないか。そのような“光のケア”に取り組むべく、調光調色シーリングライトや、無線コントロー
ルシステム「Smart LEDZ」を導入しました。まず、各居室には調光調色できるシーリングライトを採用。まだ十分に
活用していませんが、朝は目覚めやすい光、夜は優しく暖かい光にすることで、生活リズムを整えることが狙いで
す。また、夜間は真っ暗にしてしまうのではなく、全般的にほんのりと明るいレベルに点灯。それにより、安心してお
休みいただけています。レクリエーションや食事を行う多目的ホールには、50%・30%・食食用・常夜灯の4つのシー
ンをSmart LEDZで登録し、運用。レクリエーションの時ははっきりと明るく、食事の時は美味しく食事ができるよう
にシーンセクターリモコンで光を切り替えます。そして、夜は光量を落とすことで「暗くなってきたので、そろそろ寝な
ければ」という気持ちを促し、入居者様の自発的な行動をサポートしています。結果的に介護職員の夜間対応など、
負荷の軽減も期待できます。このように光をケアに取り入れる施設は、全国的にもまだ少ないと思います。私どもの
光の取り組みもまだまだこれからですが、光のケアを活かし、入居者様の安心感につなげたいと考えています。

■使用器具   RX-270N (タッチパネル式タブレット型コントローラ) RX-266W (ゲートウェイ)		 シーンセクターリモコン RX-342N 最大 4 シーン切替 調光 100%・0% 切替 1ゾーン当り最大リモコン 10 台登録可能	
各階 多目的ホール スクエアベースライト  ERK9443W ○電球色(3000K) 2334lm 19.7W	各居室 調光調色シーリングライト  ERG5496N ○電球色(3000K)～ 電球色(3000K) 3619lm 38.6W	調光調色専用リモコン  調光:10段階 調色:11段階 オフタイマー:30分/60分 メモリー機能:2設定 2チャンネル切替可 電池/壁付リモコンホルダー付	

07 社会福祉法人基弘会 リズムタウン仙台 (特養 / 小規模多機能型施設 / ショートステイ)

DATA
所在地：宮城県仙台市
竣工：2017年11月
施主：社会福祉法人基弘会
設計：豊和開発株式会社



2階ライブラリー
読書を楽しんだり、ギャラリーで新しいセンスに出会ったり。
知的好奇心をくすぐる上質な時間を過ごすことができる場
がつくられている。

リズムタウン仙台は、終身利用が可能な特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)を中心に、小規模多機能型居宅介護、ショートステイにも対応した介護施設。また、介護サービス以外にも、保育園・カフェ・イベントスペース・フィットネススタジオ・スクールなどの機能も備えており、多世代・地域に開かれた空間づくりに挑戦している。単に「施設に入所する」のではなく、利用者一人ひとりの尊厳や価値観を大切にしつつ、より上質な暮らしへの住み替えという考えに基づき、ひとつの「まち」のような新しい福祉コミュニティのスタンダードをめざす。照明計画においても、これから後期高齢者となる団塊世代のアクティブシニア感性にマッチした光環境が強く意識されている。

介護施設の照明イメージを一新。 新しい福祉コミュニティのスタンダードをめざす

照明計画としては全般的に、高齢者の視覚特性に配慮した、まぶしさが少なく、明るい印象を受けるものとなっている。例えば、居室とロビー、カフェなどを結ぶ共用部の廊下は、間接照明で壁面を照らし、心地よい明るさ感が確保されている。また、マホガニー調のシックなインテリアに囲まれたライブラリー(図書室)は、まぶしさを感じることなく、読書に十分な光が供給されている。グレアレスのベースダウンライトが採用され、さらにシンプルで大ぶりのφ1535タイプ ペンダントライトは知的空間のアクセントとなっている。そして、ミニコンサートなども行える2階ホールの中央には、おしゃれな街角をイメージさせる特注アーム付きのポール灯が設置されており、世代を超えた交流が生まれる「まち」のシンボルの役割を果たす。利用者の反応も良好で、明るさや光のバランスも問題ないとのことだ。

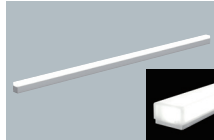


2階ホール
“街”をイメージさせる多目的空間。

Cafe264
リズムタウン仙台のコンセプトである“街づくり”より、地域の介護情報発信の場として、タウン住民と地域との交流の場として生まれたソーシャルウェルフェアカフェ。



小規模多機能型居宅介護室 廊下
自宅で暮らしながら施設のサービスを受けられる方の居室が続く。
働く人と集う人がオープンな賑わいの中で
触れ合うコミュニケーションの場である1F
廊下は、壁際の間接照明が空間の明るさ
感を高めている。

■使用器具	
2 階ホール グレアレスユニバーサルダウンライト  ERD5359W+RX359N ●電球色(3000K) 1288lm 20.9W	2 階 ポール灯+ 特注アーム  ERL8157G ●電球色(2700K) 239lm 4.9W
ライブラリー ペンダントライト  ERP7272W ●電球色(3000K) 2292lm 30.1W	廊下 間接照明 リニア 32  ERK9708S+RAD684L ●電球色(3000K) 2591lm 19.1W